

平成25年12月19日

各位

会社名 株式会社ダイキアクシス
代表者名 代表取締役社長 大亀 裕
(コード番号：4245 東証第二部)
問合せ先 常務取締役経営管理本部長 堀淵 昭洋
(電話番号：089-927-2222)

東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成25年12月19日に東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円、%)

項目	平成25年12月期			平成25年12月期 第3四半期累計期間		平成24年12月期	
	(予想)			(実績)		(実績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売上高	28,800	100.0	105.9	21,194	100.0	27,202	100.0
営業利益	514	1.8	151.7	407	1.9	338	1.3
経常利益	628	2.2	111.3	539	2.6	564	2.1
当期(四半期)純利益	395	1.4	182.5	336	1.6	216	0.8
1株当たり当期(四半期)純利益	157円26銭			134円88銭		86円82銭	
1株当たり配当金	33円00銭			—		15円00銭	

(注) 1. 平成25年10月9日付で、普通株式1株につき100株の株式分割を行いましたため、1株当たり数値については平成24年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

2. 平成24年12月期(実績)及び平成25年12月期第3四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。平成25年12月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募により発行した株式数(500,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分(最大105,000株)は考慮しておりません。

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年12月19日

上場会社名 株式会社ダイキアクシス 上場取引所 東
 コード番号 4245 URL <http://www.daiki-axis.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大亀 裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理本部長 (氏名) 堀淵 昭洋 (TEL) 089(927)2222
 四半期報告書提出予定日 ー 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	21,194	7.2	407	73.0	539	37.4	336	18.9
24年12月期第3四半期	19,764	6.6	235	△26.4	392	△12.3	283	5.4

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 519百万円 (85.2%) 24年12月期第3四半期280百万円 (5.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	134.88	ー
24年12月期第3四半期	113.47	ー

(注) 当社は、平成25年10月9日付で1株につき100株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	17,091	4,305	25.2
24年12月期	16,085	3,823	23.7

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 4,300百万円 24年12月期 3,818百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	ー	0.00	ー	15.00	15.00
25年12月期	ー	0.00	ー		
25年12月期(予想)				33.00	33.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、平成25年10月9日付で1株につき100株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり配当金を算定しております。

3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	28,800	5.9	514	51.7	628	11.3	395	82.5	157.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年12月期3Q	2,497,200株	24年12月期	2,497,200株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	ー株	24年12月期	ー株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年12月期3Q	2,497,200株	24年12月期3Q	2,497,200株

(注) 当社は、平成25年10月9日付で1株につき100株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「経営成績に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成25年12月18日を払込期日とする公募により普通株式500,000株を発行しております。平成25年12月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、上記の公募株式数500,000株を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、「アベノミクス」への期待もあり円安、株高が進み輸出が回復の兆しを見せ、企業心理が改善してきていることから、全般的な回復の動きが見られます。しかしながら、原材料や燃料価格の上昇、電気・ガス等の公共料金引上げ等による企業収益の下押し要因に加えて、海外景気の下振れが、今後国内景気を下押しするリスクも残っております。

当社グループを取り巻く環境におきましては、公共投資及び民間設備投資とも改善傾向が見られ、全般的に堅調に推移いたしました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は211億94百万円、営業利益は4億7百万円、経常利益は5億39百万円、四半期純利益は3億36百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(環境機器関連事業)

全般的な工事物件の完成及び施設維持管理に付随する修繕工事が順調に推移するとともに、新型浄化槽の販売開始により、売上高は102億72百万円、セグメント利益(営業利益)は6億86百万円となりました。

(住宅機器関連事業)

全般的に商品出荷が堅調に推移したこと及び照明・空調関連の大型案件の納入により、売上高は104億42百万円、セグメント利益(営業利益)は1億74百万円となりました。

(その他事業)

その他事業のうち、クリクラ事業においては前連結会計年度と比べて売上高が増加しておりますが、株式会社シルフィードが当期は期首から連結の範囲に含まれている事により経費が増加している状況にあります。

これらの結果、その他事業の売上高は4億80百万円、セグメント損失(営業損失)は90百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の財政状態は、資産については、流動資産が125億95百万円、固定資産が44億96百万円で、資産合計は170億91百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金37億51百万円、受取手形及び売掛金46億91百万円、未成工事支出金20億7百万円、土地18億11百万円であります。

負債については、流動負債が107億10百万円、固定負債が20億75百万円で、負債合計は127億86百万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金18億32百万円、短期借入金40億6百万円、長期借入金17億67百万円であります。

純資産合計は43億5百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年12月期の連結業績予想につきましては、政府の経済政策への期待から全般的な景気回復の動きが見られることなどもあり、当社の当初業績予想は引き続き安定的に推移するものと見込んでおります。

当連結会計年度(平成25年12月期)の業績見通しにつきましては、連結売上高288億円、連結経常利益6億28百万円、連結当期純利益3億95百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

		当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		3,751,350
受取手形及び売掛金	※1	4,691,677
完成工事未収入金		710,904
商品及び製品		298,527
仕掛品		1,550
未成工事支出金		2,007,092
原材料及び貯蔵品		295,437
その他		903,836
貸倒引当金		△64,611
流動資産合計		12,595,764
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物		845,467
減価償却累計額		△401,286
建物及び構築物（純額）		444,180
機械装置及び運搬具		990,843
減価償却累計額		△300,695
機械装置及び運搬具（純額）		690,148
土地		1,811,244
その他		550,699
減価償却累計額		△362,311
その他（純額）		188,388
有形固定資産合計		3,133,961
無形固定資産		
のれん		333,330
その他		15,282
無形固定資産合計		348,612
投資その他の資産		
投資有価証券		698,532
その他		598,682
貸倒引当金		△283,645
投資その他の資産合計		1,013,569
固定資産合計		4,496,143
資産合計		17,091,908
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金		1,832,057
工事未払金		858,312
短期借入金		4,006,000
1年内返済予定の長期借入金		606,012
未払法人税等		114,434
未成工事受入金		1,451,028
賞与引当金		285,603
役員賞与引当金		55,431

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)	
完成工事補償引当金	44,808
製品保証引当金	17,370
工事損失引当金	33,999
その他	1,405,333
流動負債合計	10,710,392
固定負債	
長期借入金	1,767,719
役員退職慰労引当金	8,000
資産除去債務	66,104
その他	234,152
固定負債合計	2,075,976
負債合計	12,786,368
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,621,500
資本剰余金	1,404,604
利益剰余金	1,069,746
株主資本合計	4,095,850
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	182,506
為替換算調整勘定	22,127
その他の包括利益累計額合計	204,633
少数株主持分	5,055
純資産合計	4,305,540
負債純資産合計	17,091,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	21,194,928
売上原価	17,364,071
売上総利益	3,830,856
販売費及び一般管理費	3,422,973
営業利益	407,882
営業外収益	
受取利息	3,451
受取配当金	8,221
仕入割引	113,279
負ののれん償却額	6,415
その他	68,711
営業外収益合計	200,079
営業外費用	
支払利息	43,176
貸倒引当金繰入額	△644
支払手数料	14,274
その他	11,390
営業外費用合計	68,196
経常利益	539,766
特別利益	
固定資産売却益	2,472
その他	223
特別利益合計	2,696
特別損失	
固定資産売却損	227
その他	0
特別損失合計	227
税金等調整前四半期純利益	542,235
法人税、住民税及び事業税	215,020
法人税等調整額	△9,411
法人税等合計	205,608
少数株主損益調整前四半期純利益	336,626
少数株主損失(△)	△187
四半期純利益	336,814

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	336,626
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	156,541
為替換算調整勘定	25,999
その他の包括利益合計	182,540
四半期包括利益	519,166
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	519,354
少数株主に係る四半期包括利益	△187

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	環境機器関連	住宅機器関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,272,176	10,442,671	20,714,848	480,079	21,194,928
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,701	903	7,604	293	7,897
計	10,278,877	10,443,575	20,722,452	480,373	21,202,826
セグメント利益又は損失(△)	686,036	174,195	860,232	△90,351	769,880

(注) 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BDF関連事業、クリクラ事業、ペット関連事業及び小型風力発電装置関連事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	860,232
「その他」の区分の損失(△)	△90,351
セグメント間取引消去	106,883
全社費用(注)	△468,881
四半期連結損益計算書の営業利益	407,882

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

1. 株式分割及び単元株制度の採用

当社は、平成25年9月20日開催の取締役会決議により、平成25年10月9日付で株式分割を行っております。また、平成25年10月18日開催の臨時株主総会における定款の一部変更の決議に基づき、単元株制度を採用しております。

(1) 株式分割及び単元株制度採用の目的

投資家の皆様がより一層投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大及び当社株式の市場流動性の向上を目的とするものであります。

また、全国証券取引所が公表いたしました「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、100株を1単元とする単元株制度を採用いたしました。

(2) 株式分割の概要

①分割の方法

平成25年10月8日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を、1株につき100株の割合をもって分割いたしました。

②分割により増加する株式数

a 株式分割前の発行済株式総数	24,972株
b 今回の分割により増加する株式数	2,472,228株
c 株式分割後の発行済株式総数	2,497,200株
d 株式分割前の発行可能株式総数	100,000株
e 株式分割後の発行可能株式総数	10,000,000株

③分割の日程

a 基準日公告日	平成25年9月24日
b 基準日	平成25年10月8日
c 効力発生日	平成25年10月9日

(3) 単元株制度の採用

①新設する単元株式の数

単元株制度を採用し、単元株式数を100株といたしました。

②新設の日程

平成25年10月18日

2. 公募による新株式発行

当社は、平成25年12月19日付で東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。当社は上場にあたり、平成25年11月15日及び平成25年11月28日開催の取締役会において、以下のとおり新株式の発行を決議し、平成25年12月18日に払込みが完了いたしました。

この結果、資本金は1,920,500千円、発行済株式総数は2,997,200株となっております。

- | | | |
|------------------|---|---|
| (1) 募集方法 | : | 一般募集(ブックビルディング方式による募集) |
| (2) 発行する株式の種類及び数 | : | 普通株式 500,000株 |
| (3) 発行価格 | : | 1株につき 1,300円
一般募集はこの価格にて行いました。 |
| (4) 引受価額 | : | 1株につき 1,196円
この価額は、当社が引受人より1株当たりの新株式払込金として受取った金額であります。なお、発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。 |
| (5) 発行価額 | : | 1株につき 1,020円
この金額は会社法上の払込金額であり、平成25年11月28日開催の取締役会において決定された金額であります。 |
| (6) 引受価額の総額 | : | 598,000千円 |
| (7) 発行価額の総額 | : | 510,000千円 |
| (8) 資本組入額 | : | 1株につき 598円 |
| (9) 資本組入額の総額 | : | 299,000千円 |
| (10) 払込期日 | : | 平成25年12月18日 |
| (11) 資金の用途 | : | 地下水飲料化事業における設備投資資金に充当する予定であります。 |

3. 第三者割当増資

当社は、株式上場にあたり平成25年11月15日及び平成25年11月28日開催の取締役会において、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出し(当社株主より借入れる当社普通株式105,000株の売出し)に関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式発行を次のとおり決議しております。

- | | | | | |
|------------------|---|-------|---|-------------|
| (1) 発行する株式の種類及び数 | : | 普通株式 | 105,000株 | (上限) |
| (2) 割当価格 | : | 1株につき | 1,196円 | |
| (3) 発行価額 | : | 1株につき | 1,020円 | (会社法上の払込金額) |
| (4) 資本組入額 | : | 1株につき | 598円 | |
| (5) 発行価額の総額 | : | | 107,100千円 | (上限) |
| (6) 払込期日 | : | | 平成25年12月27日 | |
| (7) 割当先 | : | | 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 | |
| (8) 資金の使途 | : | | 地下水飲料化事業における設備投資資金に充当する
予定であります。 | |
| (9) その他 | : | | 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社は、
オーバーアロットメントによる売出しを行った株式数
(105,000株)から、シンジケートカバー取引に係る借入
株式の返還に充当する株式数を減じた株式数につい
て、第三者割当増資に係る割当に応じる予定でありま
す。 | |

したがって、第三者割当増資における発行数の全部又は一部につき申込みが行われず、その結果、失権により本件第三者割当増資における最終的な発行数が減少する、又は発行そのものが全く行われない場合があります。